

2023年5月8日以降の授業実施方針について

2023年5月
理学部・理学系研究科

理学部・理学系研究科では、2023年5月8日以降の授業について[東京大学活動制限指針レベル「S」となったこと](#)に伴い、以下の対応とします。

1. マスクの着用の取扱い

個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。

ただし、以下の場合は適切に対応してください。

* 授業の形態、方法等により着用する必要があるものと授業担当の教員が判断する場合や授業の運営に支障があると授業担当の教員が判断した場合

* 2023年2月10日付で政府の新型コロナウイルス感染症対策本部が決定した「[マスク着用の考え方の見直し等について](#)」においてマスク着用が効果的な下記の場面

- ・ 受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時
- ・ 通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時
- ・ 重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時等

2. 基本的な感染対策実施

新型コロナウイルスの特徴を踏まえて基本的な感染対策は有効であることから、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等、引き続き、実施をお願いします。

3. 新型コロナウイルス感染症に罹患等となった場合の対応

[感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則](#)（平成10年厚生省令第99号）、[学校保健安全法施行規則](#)（昭和33年文部省令第18号）等の改正により、新型コロナウイルス感染症に罹患等となった場合、外出自粛は個人の判断に委ねられますが、その際、以下の情報を参考にしてください。

■外出を控えることが推奨される期間

- ・ 特に発症後5日間が他人に感染させるリスクが高いことから、発症日を0日目として5日間は外出を控える。
- ・ やむを得ず外出する場合でも、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底する。5日目に症状が続いていた場合は、症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見るのが推奨されます。
- ・ 症状が重い場合は、医師に相談してください。

詳細については、[2023年5月8日付東京大学の学生・教職員のみなさんへ](#)をご確認ください。

※実験や実習など、授業内容や科目の性質によってはオンラインでの受講ができず、代替の方法による履修やオンラインでの履修が認められない可能性があります。

※試験については、科目により対面での対応となる可能性がありますので、科目担当教員もしくは、開講学科・専攻事務室へご確認ください。

なお、学生・教職員が同時期に同活動単位内で、従来の目安である5名以上の罹患者が集団で発生し、教育・研究・大学運営活動に影響が大きいと考えられる事案が発生した場合は、[理学系研究科・理学部専用フォーム](#)に人数、日時、場所等の状況を報告してください。

本学における活動制限指針レベルについては、以下を参照してください（今後、内容の更新が行われる場合があります）。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/covid-19/ja/policies/index.html#id01>

なお、活動制限指針レベルが見直し等により変更になった場合は、授業実施方針が変更となる可能性があります。その際は改めて周知いたしますので、最新の情報を確認して下さい。

<本件に関する問合せ先>

- 「3. 新型コロナウイルス感染症に罹患等となった場合の対応」に関して
理学部学務課教務チーム（教務担当）

03-5841-4008

kyoumu.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

- 3. 以外に関して

学部生：理学部学務課教務チーム（学部担当）

03-5841-4480

kyoumu.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

大学院生：理学系研究科学務課教務チーム（大学院担当）

03-5841-7598

daigakuin.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp